

第5回丹波市春日地域市立小学校統合検討委員会

全体会 会議録

◇開 会 令和8年 7月17日(金) 午後 7時30分

◇閉 会 令和8年 7月17日(金) 午後 8時50分

◇会 場 春日福祉センター ハートフルかすが

・委員長 山川 茂則 ・副委員長 植木 和也
・委員 荻野 利直 笹川一太郎 三村 均 小西 和良
畑 義一 柳田 宜妥 荻野 匡俊 婦木 巧
駒谷 謙 由良 光史 原田 光大 済木 祥平
細見 恭平 足立 賢太 河津 貴司 芦田 直弥
安井 和生 山内 典子 大江 知永
(代理出席 宇野氏、柴田氏)

・欠席委員 久下 拓朗 谷口 大貴
・識見者 植木 琢也 小田 敏治

〔事務局〕

・教育部長 山本 浩史
・学校教育課長 小森 真一
・教育総務課長 足立 安司
・教育総務課副課長兼企画総務係長 前田 大志
・教育総務課学事係長 福垣 恵介
・教育総務課 中村 幸
・教育総務課 山口 智也

次第

(足立教育総務課長)

1 開会

皆さん、こんばんは。

定刻となりましたので、ただいまより、第5回丹波市春日地域市立小学校統合検討委員会を始めさせていただきたいと思います。

本日の資料につきましては、事前に送付させていただいておりますが、手元に資料がない方がおられましたらお申し出ください。

次に、年度が替わりまして、委員の交代に伴い、新たに委員の選出をいただいております。新たに委員としてお世話になります皆様につきましては、委員委嘱書を机上に配付させていただいております。

本来であれば、お一人、お一人様に委嘱書を交付させていただくべきところではございますが、限られた時間となっておりますので、机上配付とさせていただきますこと、ご容赦くださいますようお願いいたします。

次に、開会に当たり、委員の皆様方をお願い事項があります。

1点目は、会議の発言についてでございます。ご発言の際には、職員がマイクを持ってまいりますので、お名前を発せられてから、ご発言いただきますようよろしくお願いをいたします。会議録の作成にも影響しますので、マイクを通じたご発言にご協力を賜りますようお願いをいたします。

次に、2点目です。本日の会議は、公開をしております。また、報道関係者による写真撮影等のある場合もありますので、ご了承いただきますようお願いをいたします。

最後、3点目でございます。会議の終了時刻についてでございます。本会場は午後10時に閉館となります。後片づけもありますので午後9時30分までには会議を終えたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いをい

たします。

それでは、以降の進行につきましては、委員長、よろしくお願いをいたします。

(委員長)

皆さん、こんばんは。毎日暑い日が続いております。梅雨も明けて、本当に皆さん体調に気をつけていただきたいと思います。また明日からは、つかさ球場で女子高校野球が始まりますので、熱い戦いが進むと思います。もし応援に行かれる方がございましたら、よろしくお願いいたします。

それでは、今日は年度が替わって、令和8年度の春日地域の市立小学校の統合検討委員会ということで、新しく委員になられた方もございます。なお、本日の席はグループ別になっております。自治会から選出いただいております委員さんの2グループと、保護者会が3グループとなっておりますので、それぞれグループ順に自己紹介をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(委員、事務局自己紹介)

次第

2 春日地城市立小学校統合検討委員会での協議経過について

(委員長)

ありがとうございます。それでは、新しい方も含めて検討委員会のほう、よろしくお願いしたいと思います。

それでは、次第に則り、次第の2番目、春日地城市立小学校統合検討委員会での協議経過について、新しい委員の方もいらっしゃいますので、説明のほうよろしくお願いいたします。

(山口教育総務課企画総務係)

報告の前にですが、本日欠席の委員を2名聞いており、1名が国領地区自治会長会選出委員ともう1名が認定こども園かすが花の子園保護者代表の選出委員は本日、欠席されております。

それでは、春日地域の市立小学校統合検討委員会の協議経過について、ご説明をさせていただきます。

まず初めに、今回初めて委員になられた方も多数いらっしゃいますので、春日地城市立小学校統合検討委員会の設置経過についてご説明をさせていただきます。

まず初めに、資料に記載はございませんが、船城地区において、船城地区のこどもたちにとってよりよい教育環境の方向性を協議しようと、令和6年8月に船城地区自治会長会の特別組織として船城小学校の在り方検討委員会が設置されました。その検討委員会では、船城地区内の全自治会長や自治協議会、小学校保護者代表、認定こども園保護者代表の方々と協議を重ねられ、検討委員会として方向性をまとめられ、その結果を船城地区自治会長会に答申されております。その結果を受け、船城地区自治会長会で協議をされ、令和7年3月27日付で丹波市教育委員会に要望書を提出されました。

要望事項は2点で、1点目は、1学年1学級以上の学級編成とすること。2点目は、統合も視野に入れた春日地域での検討委員会を設置することでした。

また、船城小学校児童数の減少推移から見て喫緊の課題であり、早急な対応をお願いするとされており、この船城地区自治会長会から丹波市教育委員会への要望書の提出によりまして、教育委員会が丹波市立学校適正規模・適正配置方針に基づき、この春日地城市立小学校統合検討委員会を設置したという流れになっております。

次に、これまでの春日地城市立小学校統合検討委員会、及び黒井・船城地域部会の協議経過につきまして、1ページの資料1-1に沿ってご説明をさ

せていただきます。

第1回春日地域市立小学校統合検討委員会全体会においては、正副委員長の選出と今後の進め方について意見交換を行いました。現状の船城小学校の児童数を鑑みて黒井小学校との統合の検討が喫緊の課題ではないかという意見等があり、今回は、まず初めに船城小と黒井小の統合の方向性に関する意見交換を行い、並行して春日地域全小学校についても意見交換を行うことが決定されました。

第2回の全体会においては、青垣地域及び市島地域の統合経過等の概要説明、区域外就学制度や学校選択制について説明しました。また、船城小学校の統合検討と春日地域市立小学校全体の考え方について、意見交換を行いました。船城小、黒井小の統合については、様々な意見が出た中で、船城小学校と黒井小学校の統合検討については、地域部会を設置し、協議することとなりました。

なお、全体会では、春日地域の全小学校の在り方について、今後も継続で協議していくことも決定されております。

次に、第1回地域部会を開催し、正副会長の選出と統合検討について意見交換を行いました。部会として協議すべきテーマと委員個人として不安に思っていることや質問したいこと等を事務局に事前に報告し、そこで出てきた意見や提案を持って、次の会議で協議することとなりました。

次に、資料の2ページをご覧ください。第3回の全体会ですが、第1回部会の内容について委員から報告がなされました。

また、今後の春日地域市立小学校の在り方についてグループワークを行いました。グループワークに出た意見は記載のとおりで、具体的な結果につきましては資料の1―2にまとめておりますとおりです。これらの意見を事務局でまとめ、今後の会議資料として協議を進めることとしました。

次に、第2回地域部会を開催し、協議すべきテーマや不安に思っていること等について、事務局に事前に報告をいただいておりますので、その共有と意見交換を行いました。協議の中で、統合時期は令和10年度で場所は黒井小学校、学校名は黒井小学校とすることを原案とし、この原案を持ち帰って協議を行い、次の地域部会において報告することが決定されました。

次に、第3回地域部会においては、地域部会の原案について船城地区から報告があり、また、船城小学校でのこどもの意見聴取について報告を行いました。協議結果としては、黒井地区と船城地区で新たな校区として、共に学び合える黒井小学校を作っていくことを確認し、統合時期は令和10年度を目標とし、学校名は丹波市立黒井小学校、場所は現在の黒井小学校の校舎とすることについて、出席した委員全員の賛成により、地域部会の方針を決定されました。

次に、地域部会終了後、第4回の全体会を開催し、地域部会の検討結果及び船城小学校でのこどもの意見聴取について報告し、地域部会の方針のとおり、黒井小学校と船城小学校の統合について、出席委員全員の賛成により決定されました。具体的な協議については、準備委員会を設置し協議すること、また、春日地域市立小学校の在り方については、今後も継続して協議することの確認がなされております。

簡単ではありますが、春日地域市立小学校統合検討委員会の協議経過についての説明は以上になります。

(委員長)

ありがとうございました。

それでは、報告ですので次に進めさせていただきます。次に報告・協議事項の方に入らせていただきます。

(1) 黒井・船城地区市立小学校統合準備委員会の進捗状況について

(委員長)

初めに、黒井・船城地区市立小学校統合準備委員会の進捗状況について、事務局から説明をお願いいたします。

(山口教育総務課企画総務係)

先ほどご報告させていただきましたとおり、統合検討委員会において正式に黒井・船城地区の小学校の統合が決定し、統合準備委員会の設置がなされ、今年度から統合に向けた具体的な協議が始まっております。この準備委員会の進捗状況について、4ページの資料に基づきご説明をさせていただきます。

第1回目の委員会を4月30日に開催しまして、正副委員長の選出を行い、委員長に検討委員会と同様に山川委員長、副委員長に、本日もご出席をいただいております船城地区自治会長会選出委員の荻野匡俊委員にお世話になることで決定をしております。

続いて、統合後のアフタースクールについて協議を行い、市の方針として1小学校につき一つのアフタースクールの設置をしているため、統合後の使用校舎が黒井小学校になることから、黒井小学校区内の場所にアフタースクールを開設する旨を説明し、現行の黒井アフタースクールの開設場所は老朽化や収容人数等に課題があるため、黒井小学校東校舎を改修し、移転して開設することを提案し、各委員から同意をいただいている状況です。

また、船城地区児童の通学支援については、スクールバスによる通学方法とすることと黒井小学校近隣道路を考慮し、車両はマイクロバスではなくワゴンタイプの車両を2台、2往復することを提案させていただいたところ、概ね理解をいただいて、第2回準備委員会で正式に決定がなされております。

アフタースクールの開設場所の移転や、通学支援等による交通量増加に対する安全対策については、地域や関係機関等と今後調整していくことで第1回目は終了しております。

続いて、6月8日に開催しました第2回の準備委員会においては、まず初めに、5月12日からの3日間において教育委員会で実施させていただきました、黒井小学校のこどもの意見聴取についての結果の報告を行いました。また、船城地区児童の通学支援については、先ほど申し上げたようにスクールバスによるもので車両はワゴンタイプの車種での運行とし、スクールバスのバス停や運行ルートについては、保護者の方や地域の方の意見を船城小学校で集約していただき、教育委員会と協議のうえ決定することとなりました。

簡単ではありますが、統合準備委員会の協議経過についての説明は以上です。

次第

3 (2) 令和8年度春日地域小学校区毎人口推移について(0歳児～中学3年生)

(委員長)

ありがとうございました。

続きまして、令和8年度の春日地域小学校区毎の人口推移について、事務局より報告をお願いいたします。

(山口教育総務課企画総務係)

資料は6ページの資料3をご覧ください。この資料は、4月現在の小学校区内に住所を有する0歳児から中学3年生までの人口推移を小学校区別に表したものになります。ご覧いただいたように、こどもの数が減少傾向にあり、特に近年は大幅な減少をしており、春日地域では4歳児と0歳児を比較して約20人減っており、資料に記載はございませんが、市内全体では100人程度、こどもの数が減ってきている状況です。二つ以上の学年を一つの学級にまとめることを複式学級と言いまして、国では2学年以上で16人以下を基準とすることとされておりますが、兵庫県では2学年以上で14人以下を基準とする

ことで定義されております。

なお、この児童数は住民基本台帳に基づき作成したもので私立学校や特別支援学校に行く児童・生徒、また障がいのある子どもが特別支援学級に入級した場合は、その児童・生徒を除いた数で複式学級を考えることになります。春日地域においては、船城小学校が現段階で複式学級の基準を満たす学年がありまして、数年後に大路小学校、進修小学校において複式学級になる可能性のある学年があるような状況です。

また、先ほど申し上げたとおり、昨年度に開催しました第3回検討委員会のグループワークにおいて、将来的には1校、認定こども園単位で2校というような意見がありましたので、春日地域内全体の人数と認定こども園単位の人数を資料としてお示しさせていただいております。説明の方は以上になります。

(委員長)

ありがとうございます。この件につきまして、ご意見、ご質問等ごさいますでしょうか。

次第

3 (3) 春日地城市立小学校の今後の在り方について(意見交換)

(委員長)

次に春日地城市立小学校の今後の在り方について意見交換をしたいと思います。先ほども申しましたように、自治会選出委員で2グループ、保護者代表委員で3グループの計5グループに分けております。

先ほど協議経過で事務局から報告がございましたが、資料1—2のとおり、昨年度の委員会のグループワークで意見が出ております。その中で、将来的な春日地域内の小学校数については1校という意見があり、また認定こども園単位の2校という意見もございました。新たな委員さんもいらっしゃいますので、この件についてご意見をいただけたらと思います。

それと、もう1点が1校又は2校にする時期的なことも、先ほどの報告では「将来的に」という言葉もございましたが、その辺は皆さんのイメージもバラバラかと思っておりますので、例えば何年後、5年後、10年後にするのかとか、児童数が14人或いは16人以下になるとか、複式学級が2学年、3学年出てきたらとか、そのような意見があらうかと思っております。その辺もこのグループワークの中で意見を言っていいただければと思います。

また、それぞれのグループで結論をまとめていただければと思います。意見は色々ありますので、ざっくばらんに書いていただければ良いのかなと思います。各テーブルの上に模造紙と付箋を用意しておりますので、まず皆様方のご意見を書いていただければ、模造紙に貼り付けていただき、グループごとの意見を簡単にまとめていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。グループワークの詳細につきましては、事務局より説明をお願いいたします。

(前田教育総務課副課長兼企画総務係長)

今から申し上げるルールは、参加している皆さんがそれぞれの意見を守るためのルールとなっております。ご理解いただきますようお願いいたします。別紙でお配りしております話し合いのルールをご覧ください。

まず初めに、年齢に関係なく、誰もが気持ちよく話し合いに参加していただきたいと思っております。ご自身とは違う考えや思いが出てくることもあるかと思いますが、一人一人の考えを大切にし、その考えに対して否定したり、遮ったり、また意見を押しついたり、話を独占したりしないようにしてください。違いはそのまま受け入れ、比較や批判はせず、同じことと違うことがあることを受け入れていただきますようお願いいたします。

また、記載はしていませんが、誰々がこのような話をされていたといったようなことは、他の場で言わないようにお願いします。

次に記載しておりますように、何を話しても間違いではありませんし、そのようなことがあれば、今後の協議においても意見が出せなくなる場合もございます。安心・安全な雰囲気の中で気持ちよく話せることを大事にして意見交換をお願いします。

次に、意見がまとまっていなくても結構です。思ったことを言っていて一度言ったことと意見が変わったとしても、それは大丈夫です。繰り返しになりますが、委員の皆様が安心して気持ちよく意見を言えるような場としていただきますようお願いいたします。

それでは、意見交換に入りたいと思いますが、委員長から説明がありましたように、各テーブルに模造紙と付箋紙とマジックを用意させていただいておりますので、まずは個人で付箋に意見を書いていただき、その付箋を模造紙に貼り付けていただきながら一通り意見を表明してください。その後、グループ内で話し合ってください。グループで出た意見を取りまとめて、各グループとしての結論について発表いただきたいと考えておりますので、各グループ内で発表者を決めてください。

それでは、40分から45分ほど時間を取りますので、班の中で話し合ってくださいようお願いいたします。

(各班グループワーク)

(委員長)

すみません、まだまだグループで盛り上がっているところもあると思いますが、時間が来ましたので、各班から発表のほうをお願いしたいと思います。

(委員)

自治会長会の班で意見交換しました。昨年度の会議で出た意見に沿ったところではありますが、やはり自治会がどうこうするよりは、まずはお子さんを保護者の方がどう育てていきたいかというのが1番大事で船城地区は人数が減っている状況の中で少ない人数よりも、もう少し多くの友達と関われるような小学校にしたいという意見で進んでいますので、今後残った大路地区、進修地区、春日部地区で今は小学校よりもその先のこども園の方で園児や児童がやはり少ない人数では駄目だと思われるのであれば、統合するしかないのかなと思います。

一応、統合ありきではないのですが、この先ずっと人数が減っていったら統合も仕方ないと思います。それで、もし統合するのであれば最終形態というのを選んで、2回も3回も統合する余裕はないのではないかと思います。市島地域は現状、地域内で2校に統合されていますが、最終的に1校で春日小学校というのにするのであれば、最初からそれを考えたら良いという思いはあります。どうしても小学校を統合すると校歌を変えたり、校章を変えたり、その都度何か余分な仕事が入るので、統合するのであれば、それが1番良いと思います。それと統合の時期ですが、良いタイミングでしたら良いかなと思いますが、とにかく今は物価高なので、2回も3回も建物を建てて、人数が減ったからまた統合というのは、多分予算的に不可能なので早い段階で特にここ1年、2年ぐらいでそれに向けて動いていくのが良いのではないかと思います。なかなか春日地域で1校になると建物の土地をどうするのか、どこに建てるのか等色々あると思いますが、それはここで答えが出ないと進んでいけないので、そういうことを考えていったら良いのではないかと思います。以上です。

(委員長)

ありがとうございました。それでは、続いてそちらの班をお願いします。

(委員)

保護者で少し意見交換をして、テーマ1の将来的に春日地域で何校にするかという点で最終的には1校というのは全員一緒でしたが、それまでの過程

でこども園単位の統合が良いのではないかという意見がありました。こども園単位で統合する場合、進修小学校の校舎を使わせてもらうのが良いのではないかという意見がありました。この時期に関しては、令和16年頃かなと、こどもたちの人数を見ながら、その前後ではないかという話が出ました。

最終的に春日地域で1校の統合する場合の時期については、これもこどもの人数を見ながらになります。これは少し私の意見ですが、こどもが減る前提で色んな話をされていると思います。それは全国的な人口減少の問題があると思いますが、国に対してというより市の方に対して何かアクションを起こすことができれば、もしかするとこども園単位の2校でずっと維持できる状況が作れるのではないかという思いは少しあります。一概にこの時に春日地域を1校にしようということは少し言えないと思うので、こども園単位でやってもらって、その後、最終的に人数が減ってきたら1校にということで考えていけば良いのではないかと思います。以上です。

(委員長) ありがとうございます。市への施策を何か企画を持ち上げるということですね。

(委員) 何かあれば良いのではないかなと。

(委員長) 分かりました。ありがとうございます。続いてのグループをお願いします。

(委員) 1つ目のテーマの前に、前回やったグループワークの検証をやっていないのに何故また、同じ話をするのかが1番の疑問点です。前回のグループワークの検証をやっていただきたいということです。春日地域内で何校というのは、データのなものから判断すると令和10年度で春日地域内の児童数が511名ですが、3年後には387名ということで、たった3年間で124名が一挙に減ることになります。そうすると、基本的には春日地域内で1校の方が良いのではないかなというのがこの班の考えです。ただ、細かい点が色々ありますので、それはこれから検討していかないといけないと思います。あと校舎の場所は春日地域の中心の方でと前回の会議でも言いましたが、春日中学校の中でということでしたが、中学校の周辺も民間の倉庫等たくさんの建物がありますので、極端なことを言えばもっとダイナミックに場所を変えることも少し検討していったら良いと思います。あと、統合する時期ですが、春日地域全体で各学年の人数が2クラスの基準になった時を判断とするのか、あと統合するに当たって建物を新たに建設する場合、かなりの期間を要するので、時期としては5年後ぐらいを目標としてやって、それから恐らく様々な事を準備していくことになります。もしかすると5年以上かかると思うので、できるだけ早く統合する時期の結論を出したら良いのではないかと思います。以上です。

(委員長) できるだけ早くというのはどれくらいの時期を思われていますか。

(委員) できるだけ早くです。来年でも良いです。

(委員長) 結論を出すということですか。

(委員) はい。準備期間が長くなると思います。ちなみに黒井小学校と船城小学校で統合の準備を進めていますが、今の段階ではスクールバスの運行の経路、あとアフタースクール関係の運行の経路に主に進めています。この統合の準備で1番大変なのは黒井小学校付近の道路が狭いので、児童の安全対策です。恐らく他の地区の道路は随分広いと思いますが、黒井小学校の付近の道路は

とても狭いです。もし何かするときは道路を考えていかないとなかなか簡単にはいきません。それを皆さんも覚えておいてください。その形で現在、統合に向けて準備を進めています。

(委員長)

ありがとうございました。では続きましてこちらの班、お願いします。

(委員)

我々の班も色々話が出ましたが、急いで統合してしまうことのデメリットがあるとすると、今の人数を元に教室の数が決まってしまう。将来的にやや空室の教室が出てくる可能性もありますので、そこは急がなくても良いと思います。結論としては、直近の将来的には春日地域で2校、春日部小と進修小と大路小をまず統合するのが良いのかなという結論になりました。時期的なことについては、今の3歳児が小学校6年生になる8年後、最遅で8年後を目指して統合すれば、無駄な増築等もなく、今の校舎を使いながら統合できるのではないかなと思います。校舎の場所ですが、春日部小学校は改修履歴等を考えると状態もすごく良いので、適切ではないかなという結論になりました。

(委員長)

ありがとうございました。続きまして、最後の班お願いします。

(委員)

結論はまだまとまっておりません。統合ありきではないことを踏まえながら、まずはこども園単位の2校で様子を見るという意見が出ており、2校で、もし人数がある程度維持できるのであれば、2校のまま様子を見るというパターンです。もう一つは、できる限り早く1校にしていこうという案が出ております。これについては、結果的に人数が減っていくに当たって1校の方が良いというのが大きいところがあります。統合する時期ですが、1校にするのであれば、令和13年又は令和17年という意見が出ました。これについては人数で2クラスが維持できるかどうかと思っています。ただお金のこともありますので、そこら辺はいつになるのか分からないなみたいな話で止まっています。

(委員長)

ありがとうございます。今、各グループでそれぞれご意見をいただきました。先ほどの経過報告の中にもありましたが、1校或いは2校という話になります。

できるだけ早くという意見もございますが、その辺のこともまた今後検討していく材料になると思います。

統合の時期は、令和16年前後という意見や3年後でも減少が多いため、できるだけ早く結論を出すべきという意見がありました。最後に発表いただいた班では令和13年、令和17年を目途にという意見が出ました。

皆さんのご意見を事務局の方でまとめて、またそれぞれの課題について協議をしていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

何か皆さんで追加のご意見、ご提案はございますか。

(委員)

全体のことでよろしいでしょうか。

(委員長)

はい。

(委員)

現在、船城小学校と黒井小学校の統合準備を進めています。この会は春日地域の統合検討委員会で船城と黒井が順次やっているわけで、統合検討委員会の進め方を今みたいな感じではなく、船城と黒井の準備委員会の問題点を見ながらやっていってはどうですか。検討だけを議論とするのかどうか。せっかくこっちが準備委員会で動いているのに、統合をするかを検討すること

や統合する時期を検討するだけで進めるつもりなのか。準備委員会と検討委員会は違うので、その辺の今後の進め方によってどうされるのか。分離してやるものですか。

(委員長)

準備委員会はどちらかと言うと実務のことで、検討委員会は小学校の在り方等を検討する場になります。

(委員)

各所属団体の役員改選によって、委員のメンバーが恐らく替わっていくと思います。ただ、残る人もいますので、お互い勉強しながら進めていくと何か上手くいくのかなとも思います。別々で動くよりもまだ初期段階で何とも言えませんが。

(委員長)

今後検討していきたいと思います。ありがとうございます。
他、ございませんか。

次第

3 (4) その他

(委員長)

その他に移りたいと思いますが、事務局からは何かありませんか。

(前田教育総務課副課長兼企画総務係長)

事務局からは特にございません。

次第

4 次回委員会の日程について

(委員長)

それでは、次第の4番。次回の日程についてお願いします。

(足立教育総務課長)

次回の検討委員会につきましては、今日話し合っていた内容を事務局の方でまとめさせていただいて、さらに深めていただくことになろうかと思いますが、10月または11月頃に開催をしたいと考えております。正副委員長と日程等を相談させていただいて、早めに日程等をお知らせしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。以上でございます。

(委員長)

ありがとうございます。先ほど出ていた前回のグループワークでも出た意見の検証というか、振り返るといえるのはどうですかね、これはそのままスッといったような気がします、この資料の1-2の報告で。

(足立教育総務課長)

今日は、話し合っていた2点をまた次回で深めていただき、その上で細かいところに入っていたらどうかと思っております。以上です。

(委員長)

はい、分かりました。

次第

5 閉会

(委員長)

それでは、以上で本日は終了したいと思います。
副委員長より挨拶をお願いします。

(副委員長)

皆様、お疲れさまでした。
今日は今年度の第1回目ということで、皆様いろんな意見が出されました。昨年度と違い、年度最初からこうして全ての人の色んな意見が出たのはとても良かったと思います。グループワークの発表の中で、減る前提でやはり話をしていますが、私は普段福知山市で働いていますが、福知山市内に新しい工業団地ができて、そこに若い人が来て子どもが増えているのもあり、

こどもはそこまで減っていないです。もしかすると春日地域に例えば大きな工場ができてすごくこどもが増えるかもしれません。今このこどもの数を見ると確かに減り続けていますが、一方で例えば市長が帰ってこいよとされているように、そういうようなことをこの統合検討委員会で発信していても良いのではないかと思います。

それと、先ほども意見でありましたように、今日話した内容の2校にするのか、1校にするのかでかなり意見が分かれたり、時期にしても早くしてほしいというのと7、8年先でも良いのではないかと意見が割れたりしたので、それを今後はこの検討委員会で一つの結論にしていく必要があるので、その検証もしっかりとできればと思っています。

1時間半、長丁場になりましたが、皆様最後までお疲れさまでした。また次回よろしくお願いします。